

個人サンプラー測定と作業環境測定の関係

1. 個人サンプラーは呼吸域の作業場の空気を測定する道具。
2. これを用いる測定の目的が、
 - ①個人ばく露量の把握であれば、「個人ばく露測定」 であり、
 - ②労働者の作業する環境中の気中濃度の把握であれば、「作業環境測定」を行うこととなる。言い換えれば、測定の方法と得られるデータはどちらも同じであり、それぞれのデータの用途が異なる。作業環境測定として行なわれる場合は、その結果は作業環境の改善、ひいては労働者の健康管理に用いられる。
3. 測定・評価方法については、場（作業環境）として評価するための基準として何がふさわしいかの検討が必要。

（注）SEG、測定時間等の具体的な事項については、個人サンプラー導入の基本方針を取りまとめた後、NIOSH、EN規格、日本産業衛生学会のガイドライン等を参考に検討できるのではないか。